

3月大枝中学校通信



2月はたくさんの活動を通して成長することができました!!

2月も終わってしまえばあっという間に過ぎってしまった感じがしますが、どの学年・クラスもたくさんの活動や取組にチャレンジしました。そして、それぞれの活動を通して、多くの学びがあったのではないのでしょうか。

1年生では、「キャリア学習」に取り組みました。

京都中小企業同友会より4名の講師の方に来校いただき、2組から5組までの各教室で「仕事」について熱く語っていただきました。

また、どの方も目の前の中学生に対して将来を考える上でのアドバイスや仕事に対する考え方をしっかり伝えていただきました。

どのクラスの生徒も、講師の方のお話をしっかり聞くことができました。

そして、仕事のことや将来のことを自分自身のこととしてしっかり考えるきっかけを与えていただきました。



2年生では、「面接」に取り組みました。



これまで3年生でしかしていなかった面接を2年生で行いました。大枝中学校生徒の良いところや頑張り、自分がこれまで取り組んできたことや将来の夢など集団面接形式で答えました。どの生徒もとても緊張していましたが、考えや思いを一生懸命に伝えようとしていました。素晴らしい態度で臨めていたと思います。ご苦労様でした。

1組では、「小さな巨匠展」と「映画村への校外学習」、そして「泣いた赤鬼」です。

小さな巨匠展では、「書写」「ステンドグラス」「工芸作品」「共同作品」を出展しました。どの作品も心のこもった素晴らしい出来栄へと頑なりに感動しました。

映画村への校外学習は、多くのアトラクションや舞台を見ました。みんなで食べた忍者カレーの味は格別で楽しい時間を過ごすことができました。

ユニバーサル事業の音楽劇「泣いた赤鬼」は、プロの方の迫力ある舞台を見ることができて楽しかったです。とてもわかりやすい劇でした。



スポーツチャレンジ8の字に1年生がチャレンジしました。



なかなか記録が更新できず何度も何度も時間の限りトライしました。

その結果、252回の大記録を達成することができました。

参加した生徒のみなさん、本当によく頑張りましたね。

大縄跳びにも全クラスがチャレンジしてくれました。

3年生「卒業式」に向けて、いよいよカウントダウンです!!

第34回卒業証書授与式まであと12日となりました。(早いですね)

2月は私学入試、前期選抜と「夢・実現」に向かって全力を尽くしました。また、8日には「中期選抜」が行われます。学年の42人が入試に向かいます。これまでの頑張りを自信にして全力を尽くしてきてください。(君たちなら大丈夫)

さて、中期選抜が終わるといよいよ卒業前行事に入ります。

学年の仲間とクラスの友達、そしてお世話になった先生たちと過ごせる貴重な時間を共有します。卒業式に向けた練習、卒業アルバム、大掃除、送る会、学年集会、学活・・・1日ずつ、ひとつずつの行事や時間が大切な時間であり、思い出となる瞬間(とき)です。大枝中学校へ通える喜びを感じながら一日一日を大切に過ごしてください。

1・2年生の皆さんは、各委員会を中心に送る会の準備を進めてくれています。心のこもった温かい会となるよう期待しています。生徒会本部と各学年からは毎年楽しい出し物や感動的な発表がされています。また、部活動からのメッセージや吹奏楽部からの演奏が復活しました。お世話になり引っ張っていただいた3年生に喜んでもらえるようしっかり発表してください。

そして、その活動から下級生の成長した姿を披露し、来年度の学年パワーに繋げましょう。

<3年生の保護者のみなさま・3年生の生徒のみなさんへ>

卒業式は午前10時より体育館で挙行政いたします。各ご家庭より参列をしていただける方は、保護者もしくは保護者に準ずる方とし一家庭2名までとさせていただきます。

当日は、ご家庭での事前検温の上、午前9時45分までに受付を済ませご入場ください。発熱や風邪症状がある場合、体調不良が見られる場合は参加を見合わせていただきますようお願い申し上げます。

マスクの着用については、入退場・卒業証書授与・送辞・答辞等の場面では、生徒及び教職員はマスクを外すことを基本としますが、マスクを着用していただいても差し支えありません。ただし、合唱の場面では全員着用いたします。参列していただく保護者の皆様は、式典全体を通じてマスクの着用をお願いいたします。

<卒業証書の割り印> 証書上の印/右図の○の印) について → → → → →

京都市教育委員会の方針に基づき、本年度から省略いたします。

割り印は、卒業証書と卒業証書台帳(卒業生の一覧が記録される帳簿)の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の手間や、今後の台帳の電子化等も見据え、本年度より、全市統一で割り印を省略することとなったものです。

